

令和2年度第2回白石市総合教育会議 会議録

- 1 招集日時 令和3年1月25日(月) 午前11時
- 2 招集場所 白石市役所 3階 第3会議室
- 3 出席委員 白石市長 山田裕一、
教育長 半沢芳典、教育委員 佐藤敏義、教育委員、岡崎美弥子、
教育委員 小室秀一、教育委員 鈴木順子
- 4 事務局出席者
教育委員会事務局
学校管理課 課長 齋勝則、上席参事 高橋大介、課長補佐 相原宏一
課長補佐 佐藤哲生、主幹 後藤順子、主査 櫻井知
生涯学習課 課長 小室徹彦、参事兼図書館 館長 宍戸儀四郎
総務部総務課 部長 古山光春
- 5 開会時刻 午前11時
- 6 協議事項 1) 白石市教育等の振興に関する総合的な施策の大綱について
2) 未来を拓く市学校教育充実化条例(案)について
- 7 閉会時刻 午前11時55分

(午前11時00分開会)

齋課長 定刻になりましたので、ただいまから令和2年度第2回白石市総合教育会議を始めさせていただきます。私は、本日の進行を務めさせていただきます、学校管理長の齋と申します。当会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に規定されております。地方公共団体の長と教育委員会との協議並びに調整の場という位置づけになっております。また、この会議は物事を決定する場ではなく、意見調整の場でございます。
なお、本日の、会議の時間は概ね1時間ということで予定しておりますので、よろしく願いいたします。

議長選出

齋課長 それでは、開会に当たりまして、山田市長よりご挨拶を申し上げます。
山田市長 皆様おはようございます。総合教育会議開催に当たり、主催者として一言ご挨拶を申し上げます。
皆様におかれましては、日頃より本市の教育行政について、様々な角度からご意見等をいただくとともに、力強いご支援をいただいておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、本日の総合教育会議の協議内容は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定により、私が定めた「白石市教育等の振興に関する総合的な施策の大綱」と2月定例会に提案する予定の「未来を拓く学校教育充実化条例（案）」について教育長、教育委員の皆様と協議する会議であります。

令和3年4月を始期とする第六次白石市長期総合計画では、重点戦略の第1に「次代を担う子ども輝き戦略」を掲げ、次代を担う子どもの健やかな成長と子供が未来に向かって一人一人が持つ能力を最大限伸ばしていくことができるよう、確かな学力の向上や白石でしか学べない特色ある教育に取り組んでいくこととしています。本日、ご協議いただく2項目とも、本市の教育充実のため重要な事項でございますので、皆さんから忌憚のないご意見等を頂戴したいと存じます。

はなはだ簡単ではございますが、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお祈いします。

齋課長

それでは会議に入ります。議長選出でございますが、当会議につきましては「白石市総合教育会議運営要綱」第3条の規定により市長が議長となり、会議の進行をすることになっておりますので、ここからの進行は山田市長にお願いいたします。

説 明

山田市長

それでは、議長を務めさせていただきますので、よろしくお祈いいたします。

協議に入ります。はじめに、「1）白石市教育等の振興に関する総合的な施策の大綱」について私から皆様にさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。冒頭のあいさつでも申し上げましたが、この教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定により策定するもので、本年度で計画期間が満了することから大綱を示させていただきます。計画期間を令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

現在、令和3年4月を始期とする第六次白石市長期総合計画を策定中であり、重点戦略として「時代を担う子ども輝き戦略」を掲げています。この戦略実現のためにも、市と教育委員会が緊密に連携し、強力に取り組んでまいりたいと考えております。

はじめに、基本理念を「高い志を持ち、時代の変化に柔軟に対応して社会を生き抜く人を育てる。」としました。変化の激しい時代及び社会を生き抜くためには、子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の「知・徳・体」の調和がとれた「生きる力」を身に付けさせていくことが不可欠であることから、生涯にわたって豊かな人間力を育成することを基本理念としました。

この基本理念の具現化に向けて、記載の4つの目標を掲げさせていただきました。知・徳・体の調和がとれた子どもたちの健やかな成長と郷土愛を持ち、生涯にわたって学びあえる市民、地域を作るため各種施策を進めてまいります。

そのための施策の方向性ですが、1)学校教育の充実として8項目掲げております。特に、子どもたちが夢と志を持ち可能性に挑戦できるようにするためには、確かな学力を身につけることが大切です。学力向上プロジェクトの推進による基礎学力の向上、英語教育の充実により豊かなコミュニケーション能力などを身につけた人材育成、本年度に配置する「1人1台のパソコン」を活用したICT教育について、

しっかりと取り組み、学校教育の充実を一層進めてまいります。さらに、対話で思考が深まるp4cの実践や市内全小中学校がユネスコスクールに加盟していることから、ESDを推進しSDGsが掲げる質の高い教育が提供できるよう取り組みます。また、学校のあり方については、少子化などの進展により避けられない課題であることから、義務教育学校の設置を含めて検討してまいります。

次に、地域・家庭の教育力の向上のため、協働教育推進による家庭教育の充実を図るとともに、まちづくり協議会への事業支援をしてまいります。

次に、生涯学習・生涯スポーツの推進については、市民ニーズに応じた講座などの開催に努めながら、施設の整備・充実を図り、市民の参加を促進してまいります。

次に、歴史遺産・伝統文化の継承と活用については、白石城をはじめとする貴重な歴史遺産などを活用し、本市の歴史文化への関心を高めてまいります。

以上で、私が策定した教育大綱についての説明を終わります。

ここからは意見交換としたいと思います。皆様からのご意見を伺いたいと思います。国の現在進行中の第三次教育振興基本計画及び、宮城県の第二期の教育振興基本計画と照らし合わせて、大綱として漏れはないのではないかと思います。この下に付くものは、これから教育委員会で策定しますが、具体的な考え方を続けていければと思います。

佐藤委員

山田市長

小室委員

今後5年間の本市の学校教育、生涯教育を含めた教育行政の理念になる大きな部分でございます。私の思いを沢山入れさせていただいたところです。

私はこれから先、白石に住みたいという人々が増える方向に教育を大きな目玉にして進めることができるのではないかと考えています。白石でこういう教育を行っているのであれば、白石に住んで子育てをしたい。そう思う人は結構いるのではないかと思います。私は以前トヨタが宮城県に工場を作るという時、あるセンターにいました。問い合わせの電話が何本もありました。宮城県に住むことになるが、大学進学を考えた時に中学校はどこの中学校に入れるのがベストだと思いますか、と聞かれました。相当数の方から同様の問い合わせがありました。これからどこに住むかという時、色々な条件の中で、子どもがいる方は教育で住む場所を決めるのではないかと考えました。そういう意味で大綱に書かれた事柄については、特色のある中身だと思います。この方向で是非進めていただきたいと思いますが、ただ、基礎学力向上も、義務教育学校の設置、全てについて言えることですが、教育は人というか、マンパワーですのでこれらが具体化されていくのには大切な要因でないかと思います。人件費もかかりますので覚悟も必要だと思います。最後に、市長の思いも分かりますし、教育長の思いも常々聞いております。市長も教育長もいつも同じ人ではございません。これから先変わることもあります。教育大綱は5年間ですが、人が変わっても白石の教育は一貫していくのだということが必要だと思いました。

山田市長

非常に重要なお意見ありがとうございました。私は子ども達の基礎学力の向上は、子ども達にとって更に大きな自信となり、次のステップにチャレンジする勇気に繋がると考えております。教育長、教育委員の皆様からのご支援をいただき、基礎学力向上のプロジェクトを推進する中で、非常にうれしい成果、結果を教育長からお聞きしました。教育長からご報告願います。

半沢教育長 中学校3年生の結果だけしか届いておりませんので、他の学年は後ほどの報告になりますが報告させていただきます。コロナ禍において中学3年生の学力は非常に重要だと思います。理由は義務教育化の出口、間もなく始まる高校入試も控えています。子ども達の夢や志を果たしていくためにも学力は極めて重要であります。取り分け中学3年生の学力については注視してまいりました。6月に一度学力調査を行いました。その後12月に学力調査を行いました。私が嬉しかったのは、中学3年生の国語、数学、英語の学力で、基礎、活用も全て市の結果が全国平均を上回ったということです。全国平均より上か下かも大切ですが、多くの学校で子ども達を伸ばすことができたということはなお嬉しいことです。今回の結果については、学校にお願いをして、どのような要因が考えられるのかを教育委員会でまとめた上で、教育委員さんにもお示ししたいと思います。各学校にもお届けして、役立てていただきたいと思います。今回のことで感じたことは、子ども達が伸びた学校の教育実践を見ると、学力向上にだけ、授業改善、家庭学習の改善だけでなく、埼玉の調査でも明らかになっている、非認知能力と言われる部分についての取り組みが、顕著な学校ほど学力改善に結びついているということが、本市の結果から言えるのかなと思います。先ほど大綱の中で市長からお示しいただいた、知・徳・体のバランスの取れた子ども達を育成することが、学力改善にも非常に有効でないかと感じております。市全体として全国平均を超えられたということは、今までなかったことで、私も大変嬉しく思っております。校長先生はじめ現場の先生方の頑張り、子ども達の頑張りを嬉しく思っております。

小室委員 私は白石の学校で長く勤めてきましたが、学力テスト等で、ある学校だけや、ある教科だけなら全国平均を超えたことはありますが、市の平均が全国の平均を超えたことは有史以来、初めてのことであります。

山田市長 結果が出るということは、正しい努力をしたから結果に結びついたと思っております。テストの点数を上げることだけが目的ではありません。手段の一つですが、目標を掲げ、全国平均を上回ったということは、教育長、教育委員さんの想いが現場の先生方にも届き、努力する方向が間違っていなかったことを意味すると思っております。先ほど小室委員さんからもっと教育を目玉にしていくべきではないかというご意見をいただきました。私も同様の意見でございます。特に現場の先生方からも、白石の学校で勤務したいと思っただけのような本市の学校教育の環境を推進していきたいと考えております。私は子ども達に多くの成功体験をしてほしいと願っております。今年度から英検の受験料の半分を市で補助をする事業をスタートしました。新年度からは議会を通して予算をお願いすることになりますが、他の検定にも広めていき子ども達がチャレンジすることへの応援を市でも推進していきたいと考えているところでございます。

岡崎委員 先ほどの大綱の中で、義務教育学校の話も出ましたが、中学校に入る際部活でチームが作れないからこの学校に入りたくないという話を親御さんから聞くことがあります。良い意味で競争できる環境ということで、統合も視野に入れたものなのかと思っておりました。是非進めていきたいなと思っております。ICT教育のところですが、子ども達の方が精通していて親よりも分かっているなと思っております。保護者や現場の先生方がそれに対応していかなければいけない中で、親子で学ぶ機

会があるといいかなと思います。誹謗中傷など間違った使い方をしてしまうというニュースをよく見ます。正しい使い方を学ぶことは良いことだと思います。不登校の子にも有効だと思います。授業参観も個人情報に留意すれば、取り入れられるのではと思います。ライブ配信などもできるのではないかと思います。三者面談も取り入れられるのではないのでしょうか。支援学級のお子さんも社会に取り残されないように、ペイペイで支払うとか電子マネーの使い方も教えていかなければいけないのかなと思います。

山田市長

ありがとうございました。切磋琢磨できる環境は重要だと思っています。学校同士やクラス同士また児童、生徒同士は成長する上で重要な環境だと認識しております。ICT教育を親子で学ぶ環境は非常に重要だと思っています。先日仙南広域行政事務組合の理事会がありまして、今後の広域としての学校教育また、生涯教育を更に推進していく上で、より魅力的に感じるにはどのようにしたら良いのかについての発言を求められ、同じことを申し上げたところです。ICT教育が進む中で先生方も活用するためのスキルを身につけなければいけません。併せて保護者も、お子さんが何をしているのか分からない状況は良くありません。広域等でも是非親子でICT教育、機器の使い方や活用方法の講座等を開催していただくと圏域住民にもプラスになるのではないかというような発言をさせていただきました。ハード面は揃えても、重要なのは、いかに正しく使いこなしていくのか、というところだと思います。市としても色々考えていきたいと思っています。

鈴木委員

すごくバランス良く網羅された大綱だと思います。色々な予算と絡むことなので大変ありがたいと思っています。例えば英語教育をICT教育で活かしたりといった連携で子どもたち自身が学びたいとか、もっと知りたいとか意欲を持てるような授業、教育をやっていただければ違うのかなと感じております。ALTの人数にしても、学校現場で見ていると、授業だけでなく子ども達と一緒に休み時間遊んだり、様々な機会子ども達と係わりを持とうとする方もいます。子ども達も話したいと思うと思います。そういったところから英語教育が進むのかなと思います。先ほどの小室委員さんのマンパワーというお話をされました。ぜひALTの人材をお願いしたいと思います。また、こういったものをお便りで流しても保護者の理解に繋がらないので、色々な機会保護者への啓蒙をお願いしたいです。

山田市長

ALTの先生方の存在は大きいと思います。今年度はコロナ禍で中総体など学校生活に制限が出ました。コロナ以前ですとALTの先生が中総体を応援に行ったり、授業だけでなく子ども達に積極的に関わっていました。今後は白石の子ども達に世界に飛び立って活躍してほしいと思いますので、多文化共生を学び、関心を持っていただき、意欲を掻き立てて欲しいので、人材確保を頑張りたいと思います。教育長、ICT関係で現在一人一台パソコンの進捗、今後のスケジュールをお話してください。

半沢教育長

今月中に全ての小学6年生と中学3年生には配備が完了する予定です。2月下旬には小学1年生から全て一人一台端末の配備が完了する予定です。教育委員会としては配備することが目的ではなく、それをどのように使ってもらうのが重要だと思っています。白石中学校ではオーストラリアと端末配備が完了する前からオンラインでの交流をしていました。一昨日の河北新報に掲載していただきま

したが、上海の姉妹校とのオンラインでの交流をしております。これを順次広げてきて、そうすることで通信の環境や使い方、課題なども見えてきます。小学校では6年生の交流も予定しています。一小と二小の6年生、福岡小と深谷小の6年生の交流も考えております。子ども達と先生方に慣れていただくことが非常に重要だと思っております。

山田市長

教育長がお話しされたように、ハード面の整備が目的ではありません。今後いかに活用するかが重要です。私も現場をぜひ見させていただきたいと思っております。

半沢教育長

来月には、市長の日程を確認しながら、私と市長とで授業でどう活用しているのか見に行く予定です。委員さんにもご案内を差し上げるのでぜひ、小学校1校、中学校1校ですが時間が合えば様子を見ていただきたいと思います。

山田市長

本市の学校教育の特色ある教育の中で、わたしはp4cの取り入れは、全国の自治体を見ても小中学校で取り入れているのは本市だけです。NHKで毎週土曜日の夜11:30からの番組ですが、私も興味があつて見えています。番組の中で、高校生を舞台にして倫理教育の中で子どもたちの様々な問題に光を当てていきます。先日の放送では明らかにp4cをやっているのです。p4cという言い方はしておりませんが、ルールの中で意見に対して否定することなく様々な意見を出していました。第二回目の放送では自由とは幸せか、というテーマで非常におもしろかったです。今後子どもたちが、物事を考えていき、様々な課題を解決しなければいけない時に、探求の対話の実践は子どもたちの生きる力を育む上でも非常に重要だと思っております。現場ではさらにp4cを活用していただきながら、自分と他人の違いを子どもたちが考えていただければ、今後の他文化共生や、協働する社会の上で重要な人材となるのではないかと期待しています。

半沢教育長

本市の探求の対話p4cについては、文部科学省が薦めている、主体的、対話的で深い学びの対話的の部分で、非常に注目を浴びております。複数のマスコミから長期の取材を受けております。先ほど市長が話されたNHKのEテレでは、小原小中学校に継続的に入っていただいております。近いうちに全国放送される予定です。分かりましたら皆様にお知らせいたします。

山田市長

それでは、1)の大綱について委員の皆様からさらに意見等ございますか。

小室委員

大綱の中に義務教育学校の設置とありますが、新庄市の視察をさせていただき、これまでの白石の教育の施策に無駄があつたのではないかと思いました。具体的には南中学校の校舎、体育館には現場の一人として当時関わりました。先が見えない中で決定してしまったのではないのでしょうか。反省も含めて思っています。長い目で見てできるだけ無駄のないように、既存の施設等でも使用できるものは使用していく必要があるのではないかと思っています。

山田市長

今後さらに、新庄市も含め義務教育学校については、私も勉強していきたいと思っております。引き続き教育委員の皆様からも色々と教えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。その他無いようですので、2)未来を拓く学校教育充実化条例(案)に移ります。この条例は、第1条に記載しておりますが、本市における学校教育の基本理念を定め、市長並びに市教育委員会及び学校の責務を明らかにすると共に、学校教育に関する重点施策、その他の基本的事項を定めることによって、学校教育の充実化を図り、もって自ら未来を切り拓き、社会を生き

抜く力を持った児童等を育成することを目的として制定いたしたく2月定例会に提案することとして現在準備をしております。条例の内容について高橋上席参事より説明をいただきたいと思ひます。

高橋上席参事

私の方から「未来を拓く学校教育充実化条例」について説明をさせていただきます。本条例は8条で構成されています。第1条は、目的の規定でただ今市長から説明がございました。第2条は定義についての規定でございます。第3条は基本理念の規定になっております。人口減少、グローバル化情報化の進展等急激かつ不確実な社会の転換期にある中で、子ども達に変化に柔軟に対応して自ら未来を切り拓き、社会を生き抜く力を身に付け、高い志を持って可能性に挑戦することができる児童等を育成する。ということの基本理念としております。第4条は、市長及び教育委員会の役割分担の規定となっております。市長及び市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条及び第22条に規定する職務権限に基づく適切な役割分担の下に、基本理念にのっとり、協力して学校教育の充実化を図るものとしております。第5条は、市長の責務、第6条は教育委員会の責務となっております。第5条にございます、学校教育の充実化を図るための施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有するとございますが、先ほど協議いただきました、教育大綱もこの一部となっております。第7条の学校の責務については、教育基本法第6条および学校教育法第42条に則り策定するものがございます。こちらを踏まえて、第8条は重点施策となっております。未来を拓く教育の視点に基づく重点施策となっております。第1項第1号につきましては、教育を受ける機会の確保の項目となっております。例えば不登校の児童、生徒または、外国人の児童、生徒等も含まれております。第2号は児童等が自己の目的を実現し、社会を自立的に生きる力を培うための学力向上についての規定となっております。第3号はグローバル化に対応するための国際理解教育及び外国語教育の充実となっております。第4号は情報化社会に対応するための情報教育の充実及びICT環境の整備となっております。先ほどの議論の中でもありました、GIGAスクールによる一人一台端末の配備、こちらの充実についても含まれます。第5号は児童等が社会性を育むために必要な学校環境の整備及び規模の適正化についての項目です。以上が本条例についての説明となります。よろしくお願ひいたします。

山田市長

ありがとうございました。委員の皆様からご意見、ご質問を頂戴したいと思ひます。

佐藤委員

私が教育委員になって、総合教育会議が開催される前は、市長さんと直接こういった議題での会議はなかなかありませんでした。教育委員会としては、予算編成などありますので、市長さんと意見交換しないと、ということで、以前事務方は入らずに飲み会を行ったことがありました。当時の市長と教育委員5名で忌憚のない意見を出し合いました。こういったところに予算を付けてほしいと話したり、市長からは自身の思い描く白石の教育がこうあってほしいという話が出ました。その後教育委員会の制度が変わり、このような場が設けられましたが、予算の主権は行政サイドにあります。予算を付ける際に、具体的な条例があるのとなひのでは違ふと思ひます。先ほどの小室委員の話で、市長、教育長などが変わり、

その都度変わるのでなく、条例の基本姿勢を持続していくという意味では非常に喜ばしく思います。

小室委員

条例案の第一案も見させていただきました。今回は第二案ですが、第一案と比べると中身がはっきり、すっきりして大変分かりやすいと思います。可能ならばですが、昨年幼稚園問題に関わり、幼稚園教育の重要性を勉強しました。幼稚園も含め白石の教育はこのような観点からという意味で、第二条に幼稚園も含めることは可能でしょうか。

高橋上席参事

今回は、学校教育というところを条例で文言等を定義させていただきました。幼児教育になりますと、考える範囲等勘案しなければいけなくなりますので検討事項かなと考えています。

半沢教育長

小室委員さんのご指摘はよく分かります。しかしながら現下日本の規定では、保育園については、国は厚生労働省管轄、市では教育委員会ではなく子ども家庭課です。今度私立でできる認定子ども園については、総務省管轄です。今までは幼稚園は教育委員会で管轄していましたが、今後は教育委員会所管ではなくなるなど、市立幼稚園は教育委員会のみなど、条例に幼児教育、保育を入れるとことが現実に難しかったところです。幼児教育、保育の充実というは重要で、条例とは別に様々な形で充実化を図って参りたいと思っております。本日決まったことですが、来月市立幼稚園にも探求の対話のp4cを入れることが、宮城教育大学の幼児教育の専門の先生をお呼びし、幼稚園教諭を対象とした研修会を行うことが決まりました。私としては市立幼稚園をトップランナーとして、市内の保育施設、私立も含めて時間はかかると思いますが幼児教育、保育の充実を関係部局と連携しながら進めて参りたいと思っております。条例には書き込めない部分があることをご理解いただきたいと思っております。違った形で進めて参ります。

岡崎委員

目的、理念、施策についても実現できるように、子どものための予算の確保もお願いしたいところです。

鈴木委員

先ほど提案のあった大綱を全て網羅されている条例だと思います。最後のところ第8条第5号の「学校環境の整備及び規模の適正化」では少子化問題もあり将来的に統合も進んでいくのかなと思っております。市長として統合に向けての基準みたいなものはお持ちでしょうか。

山田市長

一つの基準として、文部科学省の小中学校それぞれ基準がございます。これからの少子化を考えた場合、いかに子どもたちの教育の環境を、しっかり作り上げていくのかは、教育委員会だけでなく保護者の皆さんも巻き込んで考えていきたいと思っております。今回他の市の例を見てもなかなか、条例を制定している市はないのです。子どもたちのためによりよい環境を整備するため、行政だけでなく市民の皆さんも巻き込んでいくために条例を制定していき、条例があることにより予算も付きやすくなります。子どもたちの学びの場、学校で勉強したいと思ってもらえるような魅力ある学校作りをしていくために、この条例を大いに生かしていきたいと考えております。先ほど小室委員さんから、人が変わっても生かしていくことが重要だという発言をいただきました。教育は国家百年の計と言われるように非常に時間のかかるものでありますが、時代の流れは急速に変わっていきます。不易流行ということわざのように時代の変化の中でも、変わってはいけないもの、逆に柔軟に変

わっていかなければいけないものは、教育の現場にもあると思います。コロナ禍ではありますが、新たな教育の可能性や、不登校の子の新たな光、色々な側面があるかと思っています。前向きに変化を恐れず、チャレンジしていくためには予算が必要です。4月からの第六次総合計画のスタートに向けて、最終段階でございます。市役所内も機構改革で新たな組織づくりにも着手しております。このような中で条例を議会で認めていただき、子ども達の教育環境をしっかりと作り上げていきたいと考えております。引き続き教育委員の皆様からご指導、叱咤激励を賜りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。その他皆様からご意見ございますか。

齋課長
山田市長

次に、5 その他、事務局から何かありますか。
特にございません。

齋課長

特に無いようですので、本日の会議はこのあたりで終了させていただき、これで議長の任を解かせていただきます。本日はありがとうございました。

半沢教育長

山田市長ありがとうございました。

それでは、閉会にあたりまして、半沢教育長から挨拶を申し上げます

本日は長時間にわたりまして、総合教育会議において様々なご意見を頂戴したことに御礼を申し上げます。ありがとうございました。先ほど市長から大綱をお示しいただき、私の感触では、教育委員の皆様から、いいよねという話になったと理解しております。2月の定例会に上程予定の条例案についても委員の皆様から賛同のご意見をいただいたと認識しております。今後事務的な手続きは、次回の定例教育委員会で行いますが、現在教育委員会では、今日の市長の大綱を踏まえて、総合基本計画を策定することになります。今日示された大綱を最大限に生かして、今後の本市の教育行政を進めてまいりたいと考えております。委員の皆様、市長には今後も本市の教育の充実のために、ご尽力いただきますこと再度お願い申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

齋課長

以上で、令和2年度第2回白石市総合教育会議を終了いたします。
大変お疲れ様でございました。